

KORG

KROSS  
MUSIC WORKSTATION

## クイック・スタート・ガイド

はじめに.....2	音色を手軽にエディットする.....14
安全上のご注意.....2	クイック・レイヤー.....14
データについて.....3	クイック・スプリット.....14
著作権について.....3	音量バランスを調節する.....14
取扱説明書について.....3	明るさや音量の変化を調節する.....15
おもな特長.....4	エディットした音色を保存する.....15
フロント・パネル.....4	シーケンサーに録音する.....16
リア・パネルと接続.....6	演奏を MIDI で録音する.....16
電源を入れる、切る.....8	作成したソングをセーブ（保存）する.....17
演奏までの準備.....8	オーディオ・レコーダーに録音する.....18
使い終えたら.....8	KROSS の演奏を録音する.....18
オート・パワー・オフ機能.....8	外部入力音を録音する.....19
ディスプレイとモード.....9	SD カードのフォーマット.....19
ディスプレイ.....9	デモ・ソングを聴く.....20
モードを選択する.....9	工場出荷時の設定に戻す.....20
音色を選ぶ／演奏する.....10	仕様（概略）.....20
プログラムやコンビネーションを選ぶ.....10	保証規定（必ずお読みください）.....21
フェイバリット機能を使う.....10	アフターサービス.....21
コントローラーでサウンドを変化させる.....11	
プロダクション・ツールズ.....12	
アルペジエーターで演奏する.....12	
ドラム・トラックを鳴らす.....12	
ステップ・シーケンサーを鳴らす.....13	

## はじめに

このたびはコルグ・ミュージック・ワークステーションKROSS（クロス）をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本製品を末永くご愛用いただくためにも、この取扱説明書をよくお読みになって正しい方法でご使用ください。

## 安全上のご注意




ご使用になる前に必ずお読みください

ここに記載した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の方々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。

注意事項は誤った取り扱いで生じる危害や損害の大きさ、または切迫の程度によって、内容を「警告」、「注意」の2つに分けています。これらは、あなたや他の方々の安全や機器の保全に関わる重要な内容ですので、よく理解した上で必ずお守りください。

## 火災・感電・人身障害の危険を防止するには


### 図記号の例


	△記号は、注意(危険、警告を含む)を示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれています。左の図は「一般的な注意、警告、危険」を表しています。
	⊘記号は、禁止(してはいけないこと)を示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれることがあります。左の図は「分解禁止」を表しています。
	●記号は、強制(必ず行うこと)を示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれることがあります。左の図は「電源プラグをコンセントから抜くこと」を表しています。

以下の指示を守ってください

## 警告

この注意事項を無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性があります。

-  ・ ACアダプターのプラグは、必ずAC100Vの電源コンセントに差し込む。
- ・ ACアダプターのプラグにほこりが付着している場合は、ほこりを拭き取る。感電やショートの恐れがあります。
- ・ 本製品をコンセントの近くに設置し、ACアダプターのプラグへ容易に手が届くようにする。

-  ・ 次のような場合には、直ちに電源を切って ACアダプターのプラグをコンセントから抜く。
  - ACアダプターが破損したとき
  - 異物が内部に入ったとき
  - 製品に異常や故障が生じたとき
 修理が必要なときは、コルグお客様相談窓口へ依頼してください。



・ 本製品を分解したり改造したりしない。



- ・ 修理、部品の交換などで、取扱説明書に書かれていること以外は絶対にしない。
- ・ ACアダプターのコードを無理に曲げたり、発熱する機器に近づけない。また、ACアダプターのコードの上に重いものをのせない。コードが破損し、感電や火災の原因になります。
- ・ 大音量や不快な程度の音量で長時間使用しない。大音量で長時間使用すると、難聴になる可能性があります。万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、専門の医師に相談してください。
- ・ 本製品に異物(燃えやすいもの、硬貨、針金など)を入れない。
- ・ 温度が極端に高い場所(直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など)で使用や保管はしない。
- ・ 振動の多い場所で使用や保管はしない。
- ・ ホコリの多い場所で使用や保管はしない。



・ 風呂場、シャワー室で使用や保管はしない。



- ・ 雨天時の野外のように、湿気の多い場所や水滴のかかる場所で使用や保管はしない。
- ・ 本製品の上に、花瓶のような液体が入ったものを置かない。
- ・ 本製品に液体をこぼさない。



・ 濡れた手で本製品を使用しない。

## 注意

この注意事項を無視した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物理的損害が発生する可能性があります。



- ・ 正常な通気が妨げられない所に設置して使用する。
- ・ ラジオ、テレビ、電子機器などから十分に離して使用する。ラジオやテレビ等に接近して使用すると、本製品が雑音を受けて誤動作する場合があります。また、ラジオ、テレビ等に雑音が入ることがあります。
- ・ 外装のお手入れは、乾いた柔らかい布を使って軽く拭く。
- ・ ACアダプターをコンセントから抜き差しするときは、必ずプラグを持つ。
- ・ 長時間使用しないときは、電池の液漏れを防ぐために電池を抜く。
- ・ 電池は幼児の手の届かないところへ保管する。



- ・長時間使用しないときは、AC アダプターをコンセントから抜く。  
電源ボタンをオフにしても、製品は完全に電源から切断されていません。



- ・付属の AC アダプターは、他の電気機器で使用しない。  
付属の AC アダプターは本製品専用です。他の機器では使用できません。
- ・他の電気機器の電源コードと一緒にタコ足配線をしない。  
本製品の定格消費電力に合ったコンセントに接続してください。
- ・電池を過度の熱源(日光、火など)にさらさない。
- ・スイッチやツマミなどに必要以上の力を加えない。  
故障の原因になります。
- ・外装のお手入れに、ベンジンやシンナー系の液体、コンパウンド質、強燃性のポリッシャーは使用しない。
- ・不安定な場所に置かない。  
本製品が落下してお客様がけがをしたり、本製品が破損する恐れがあります。
- ・本製品の上ののったり、重いものをのせたりしない。  
本製品が落下または損傷してお客様がけがをしたり、本製品が破損する恐れがあります。
- ・本製品の隙間に指などを入れない。  
お客様がけがをしたり、本製品が破損する恐れがあります。
- ・地震時は本製品に近づかない。
- ・本製品に前後方向から無理な力を加えない。  
本製品が転倒してお客様がけがをしたり、本製品が破損する恐れがあります。

## データについて

操作ミス等により万一異常な動作をしたときに、メモリー内容が消えてしまうことがあります。大切なデータは、あらかじめ他のメディア等へセーブしておいてください。データの消失による損害については、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

## 著作権について

著作権者から許諾を得ていない著作物を、個人、家庭内、またはその他のこれに準ずる限られた範囲以外で使用した場合、著作権侵害となり、損害賠償を含む補償を負う場合があります。そのような著作物を録音したものはもちろん、著作物に手を加えて作られたものにも、著作権者の権利が含まれていますので、これら成果物の転載、配信などは、著作権侵害となります。著作権侵害によって発生した損害賠償などは、当社は一切の責任を負いかねます。使用者自身の権利について不明確なときは、法律の専門家に相談してください。

すべての製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

## 取扱説明書について

### 取扱説明書の構成と使用方法

KROSSには以下の取扱説明書が付属されています。

- ・ KROSS クイック・スタート・ガイド (印刷版) (本書)

以下の取扱説明書は、コルグ・ホームページからダウンロードすることができます。

- ・ KROSS オペレーション・ガイド (PDF)
- ・ KROSS パラメーター・ガイド (PDF)
- ・ KROSS ボイス・ネーム・リスト (PDF)

また、「ビデオ・マニュアル」をコルグ・ウェブサイトで視聴することができます。

- ・ KROSS ビデオ・マニュアル

コルグ・ウェブサイト <http://www.korg.co.jp/>

### クイック・スタート・ガイド (本書)

KROSSのおもな機能を簡単に確認できます。まずは本書をお読みください。

### ビデオ・マニュアル

KROSSのおもな機能を動画でご覧いただけます。

### オペレーション・ガイド

KROSSの操作方法を説明します。操作中に「これ、どう操作するのか?」と思ったら、このガイドをお読みください。

### パラメーター・ガイド

KROSSのすべてのパラメーターに関する情報をモード、ページごとにまとめたものです。「このパラメーターは何かな?」と思ったら、このガイドをお読みください。

### ボイス・ネーム・リスト

KROSSの工場出荷時に収録されているサウンド等のリストです。以下が含まれます。

プログラム、コンビネーション、マルチサンプル、ドラムサンプル、ドラムキット、アルペジオ・パターン、ドラムトラック・パターン、デモ・ソング、テンプレート・ソング

### PDFマニュアルについて

PDFの取扱説明書は専門用語などを検索するときに便利です。検索機能を使用して目的の用語を素早く探すことができます。また、目次や文中のページ表記をクリックすると、調べたい項目へ簡単に移動することができます。

なお、KROSSのディスプレイにPDFを表示することはできません。PDFはコンピューターでご覧ください。

## 取扱説明書の表記

### KROSSの名称表記

KROSSには、88鍵モデルのKROSS-88、61鍵モデルのKROSS-61があります。この取扱説明書でKROSSと表記するときは、これらの総称になります。

### マーク , Note, Tips

これらのマークは、順番に、使用上の注意、ノート、アドバイスを表しています。

### ディスプレイ表示

取扱説明書に記載されている各種のパラメーターの数値などは表示の一例ですので、本体のディスプレイの表示と必ずしも一致しない場合があります。

## おもな特長

音色を選んですぐに弾く、自作のサウンドで表現する、フレーズやリズムを作る、そして歌やギターを録音する—KROSSは、そんな「やってみたい」を「できる」にする、フレンドリーなミュージック・ワークステーションです。

### 簡単に音色が選べるサウンド・セレクター ④

音色を選ぶための2つの専用ダイヤルを設けました。直感的に好みの音色を見つけることができます。

### すぐに音色を呼び出すフェイバリット機能 ⑪

フロント・パネルにある16個のボタンに合計64個の音色を登録し、すぐに呼び出せます。ライブ演奏時に便利です。

### EDS-i音源の豊かな表現力

コルグ・プロフェッショナル・シンセサイザーのサウンドを引き継ぐEDS-i (Enhanced Definition Synthesis-integrated) 音源によるハイクオリティなサウンドを搭載しました。演奏や制作に豊かな表現力を発揮します。

### 豊富なプリセット音色とエフェクト

楽器や効果音をサンプリングしたPCMデータを112 MB内蔵しました。また、リアルなプリロード・サウンドなどを1,033収録しています。

134種類のエフェクトを内蔵しています。コーラス、ディレイ、リバーブやオーバー・ドライブ、ピンテージ・エフェクトやアンプのシミュレート、さらにボコーダーなどがあります。

### クイック・レイヤー/スプリット機能 ⑭

2つの音色を重ねたり、左右の鍵盤に別々の音色を並べたりを、クイック・レイヤー機能とクイック・スプリット機能で手軽にセットアップできます。

### 演奏や作曲りを支援する豊富な機能 ⑧ ⑨ ⑩

リズムカルなコードや分散和音を自動演奏するアルペジエーターと、さまざまなジャンルのドラム・パターンをすぐに演奏できるドラム・トラック、そして16個のボタンでオリジナルのドラム・パターンを感覚的に作って再生するステップ・シーケンサーによって、あなたの演奏や作曲りを支援します。

### シーケンサーによるMIDI録音 ⑫

KROSSのシーケンサーは、分解能 1/480の16トラックMIDIシーケンサーです。KROSSの鍵盤やコントローラーによる演奏をMIDIデータで記録（録音）して、再生します。

### 歌や鍵盤演奏を多重録音できるオーディオ・レコーダー ⑬

KROSSの演奏や外部入力音をSDカードに録音できるオーディオ・レコーダー機能を搭載しました。録音や再生はもちろん、重ね録りをしたり、WAVEファイルを読み込んで再生することもできます。

どこへでも持ち運べ、弾く場所を選ばない軽量ボディ  
標準鍵盤のワークステーションをさらに軽量化しました。電源には、ACアダプター以外に、単3形電池も使用できますので、いつでもどこでも楽しむことができます。

### USBによるコンピューター接続

USBでコンピューターに接続して、MIDIデータのやり取りが簡単に行えます。

KROSS Editor、Plug-In Editorを使用すると、コンピューターで一度に多くのパラメーターを確認しながらエディットしたり、KROSSをDAWでソフト・シンセのように扱うことができます。

\* KROSS Editor、Plug-In Editorは、コルグ・ホームページ (<http://www.korg.co.jp/>) からダウンロードできます。

## フロント・パネル



### モード・セレクト

#### ① モード

動作モードを選択します。演奏や作曲、KROSSの全体的な設定やデータ保存など、用途に応じて切り替えます。



### サウンド・コントロール

#### ② ボリューム

AUDIO OUTPUT L/MONO、R端子とヘッドホン端子から出力する音量を調節します。

#### ③ コントローラー

##### SW1、SW2

オクターブの切り替えやホイール・ロックなどの機能を操作します。

#### モジュレーション・ホイール(右)

#### ピッチ・ベンド・ホイール(左)

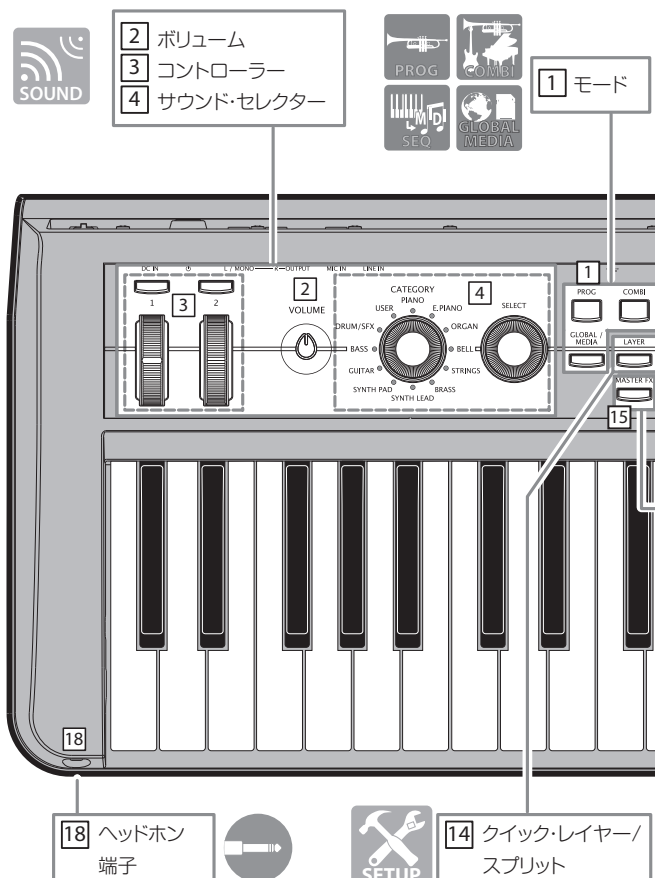
ビブラートなどの効果をつけたり、音程を上下にコントロールしたりします。

#### ④ サウンド・セレクター

2つのダイヤルで、演奏するサウンドを選択します。

#### ⑪ フェイバリット

1~16ボタンに音色などを登録して呼び出せるフェイバリット機能进行操作します。





## ディスプレイ・コントロール

### 5 ディスプレイ

KROSSの音色や動作を設定するパラメーターとその値が表示されます。

### 6 カーソル/バリュー・コントローラー

ディスプレイに表示されるカーソルや値を操作します。

Tip: EXITボタンを押しながらダイヤルを回すと、ディスプレイのコントラストを調節できます。

### 7 ファンクション/ページ・コントローラー

ディスプレイのページの移動や、各ページの機能（ファンクション）をリスト表示し、その実行をおこないます。



## プロダクション・ツールズ

### 8 アルペジエーター

押さえた鍵盤に応じて分散和音を演奏する機能です。

### 9 ドラム・トラック

内蔵のドラム・パターンを再生する機能です。

### 10 ステップ・シーケンサー

1~16ボタンでドラム・ループ・パターンを作るステップ・シーケンサー機能を操作します。



## シーケンサー

### 12 シーケンサー

鍵盤演奏などをMIDIデータで記録する、シーケンサーを操作します。

REC (●)ボタンは、オート・ソング・セットアップ機能の呼び出しにも使用します。

### 13 テンポ

テンポを調節します。



## クイック・レイヤー/スプリット

### 14 クイック・レイヤー/スプリット

2つの音色を重ねるレイヤーや、左右で別の音を並べるスプリットの音色を設定するボタンです。



## エフェクト・スイッチ

### 15 マスター・エフェクト

マスター・エフェクト1/2をワンタッチでオン/オフできるボタンです。



## オーディオ

### 16 オーディオ・レコーダー

本体の演奏や外部入力音を録音できる、オーディオ・レコーダー機能の設定や操作をおこないます。

### 17 外部入力オン/オフ

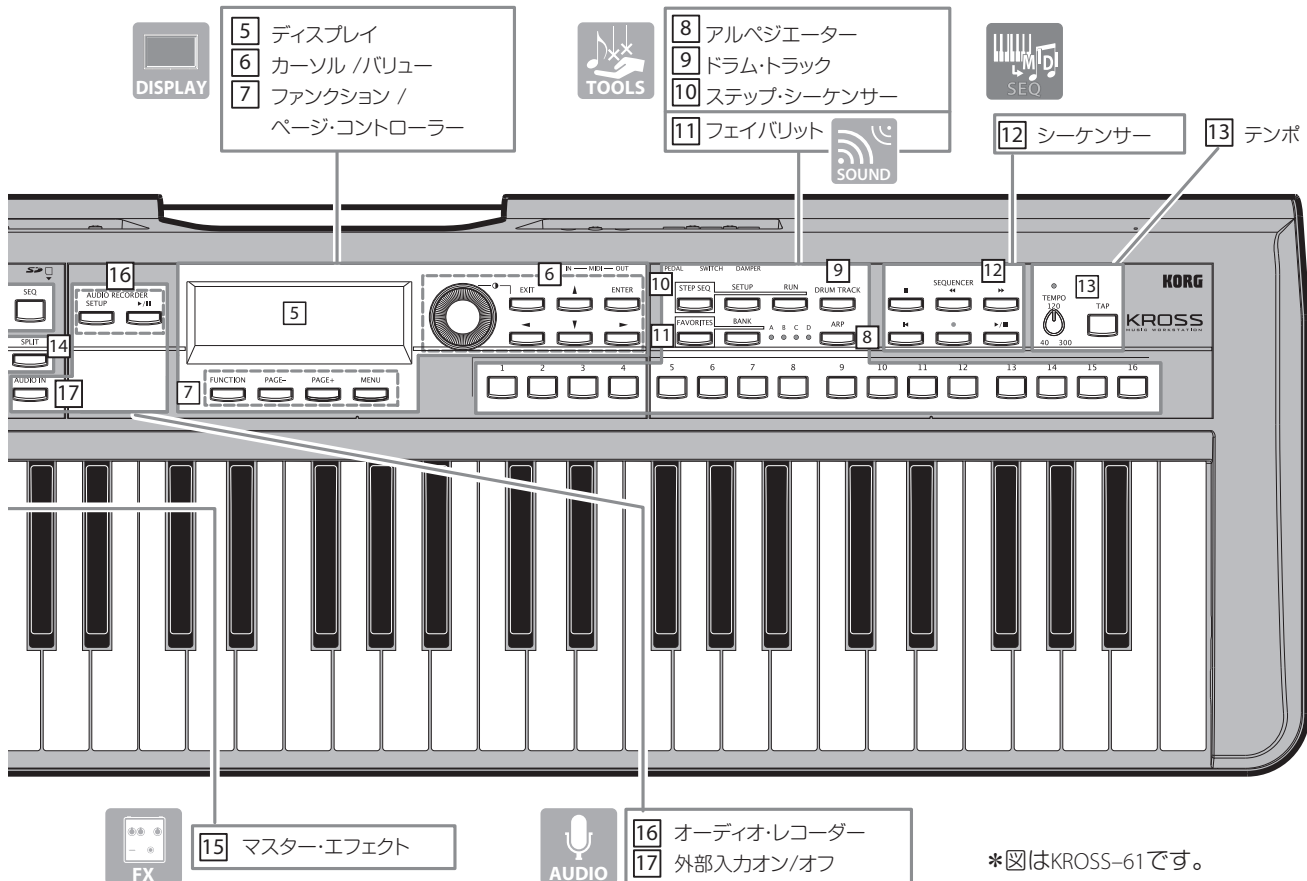
外部入力を有効にします。初期設定ではMIC INが使用できます。



## ヘッドホン

### 18 ヘッドホン端子

ステレオ・ヘッドホンを接続します。



\*図はKROSS-61です。

## リア・パネルと接続

### AC電源の接続

#### 1 電源ボタン、2 電源端子、3 コード・フック

以下の手順でACアダプターを電源に接続してください。  
電池を使用する場合は後述の「電池を使用する」をご覧ください。

##### 1. 確認する

接続する前に、以下を確認してください。

- ・電源は必ずAC100Vを使用する
- ・ACアダプターは必ず付属のものを使用する

##### 2. ACアダプターを接続する

- 付属ACアダプターのDCプラグをKROSSの電源端子(DC 9V)に接続する
- ACアダプターのプラグを電源コンセントに接続する
- DCプラグが抜けないように、コードを本機のコード・フックに固定する

⚠ KROSSにはオート・パワー・オフ機能があります。本体を操作しないまま4時間が経過すると、自動的に電源がオフになります(工場出荷時)。(→p.8「オート・パワー・オフ機能」参照)

### オーディオ機器の接続

⚠ 接続するときは、機器の電源を切ってください。電源を入れたまま接続すると、機器やスピーカーが破損する場合があります。

#### 4 オーディオ出力端子

パワー・モニターやミキサーなどを接続する端子です。音量はVOLUMEノブで調整します。

#### 5 マイク入力端子

ダイナミック・マイクやエレクトリック・ギターを接続するモノラル入力端子です。

(標準フォーン・ジャック。ファンタム/プラグイン・パワー非対応)

#### 6 ライン入力端子

オーディオ・プレーヤーなどを接続するステレオのライン入力端子です。(ステレオ・ミニ・フォーン・ジャック)

Note: 入力設定は、AUDIO INダイアログで設定します。(→p.19)

Note: マイク入力とライン入力の信号を同時に使用することはできません。

### コンピューター、MIDI機器との接続

#### 7 USB B端子

コンピューターに接続して、演奏やサウンド設定などをMIDIで送受信します。

#### 8 MIDI IN/OUT端子

外部MIDI機器に接続して、演奏やサウンド設定などをMIDIで送受信します。

### データ・セーブ/ロードの準備

#### 9 SDカード・スロット

SDカードに、音色や曲のデータをセーブ/ロードしたり、オーディオ・レコーダーで録音/再生したりします。

KROSSが使用できるメモリー・カードは、SDカードとSDHCカードです。

⚠ はじめて本機で使用するSDカードは、必ずフォーマットしてください。フォーマット方法についてはp.19を参照してください。

##### SDカードを入れる/取り出す

###### 1. SDカードをスロットに入れる

市販のSDカードのラベルを上に向け、SDカード・スロットに挿入し、クリック音がするまで押し込んで装着します。

⚠ カードは正しい向きで装着してください。

###### 2. SDカードを取り出す

カードを奥に押し込むと、クリック音とともにカードが手前に押し出されますので、そのまま引き抜きます。

Note: SDカードはカード付属の取扱説明書を参照して、正しい方法で保管してください。

⚠ 起動中や電源オフ時、セーブ/ロード、オーディオ・レコーダーの録音/再生などのデータ・アクセス中には、絶対にSDカードを出し入れしないでください。

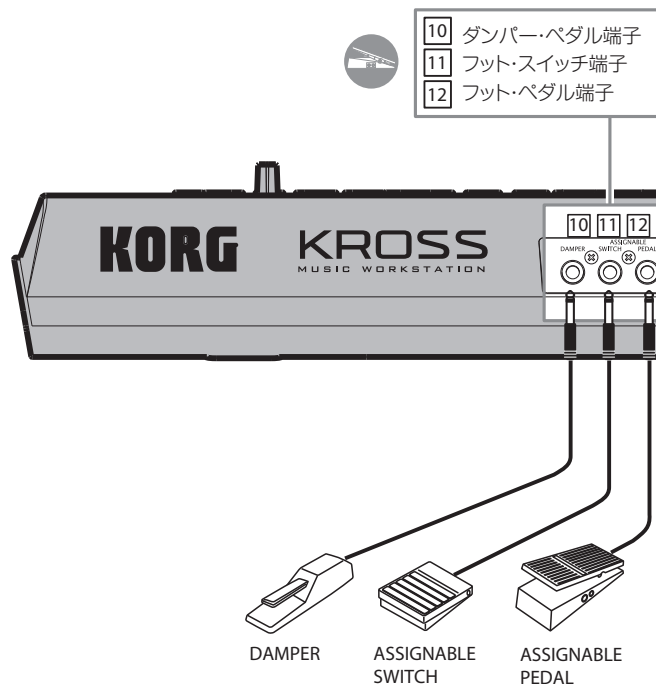
### フット・コントローラーの接続

KROSSを足元から操作するオプションを接続します。

Note: はじめて接続するときは、極性や、割り当てる機能などを設定してください。(→オペレーション・ガイド「フット・コントローラーの接続」参照)

#### 10 ダンパー・ペダル端子

ダンパー・ペダル(別売オプション)によって、鍵盤から手を離しても音が持続する、ダンパー効果を得られます。



### 11 フット・スイッチ端子

ペダル・スイッチ（別売オプション）によって、音色の切り替えやシーケンサーの再生/停止などをおこなうことができます。

### 12 フット・ペダル端子

フット・コントローラー（別売オプション）によって、音量や音色の調節をおこないます。



## 電池を使用する

### 使用できる電池

単3形ニッケル水素電池またはアルカリ乾電池を6本使用します。マンガン電池は使用できません。

### 連続使用時間

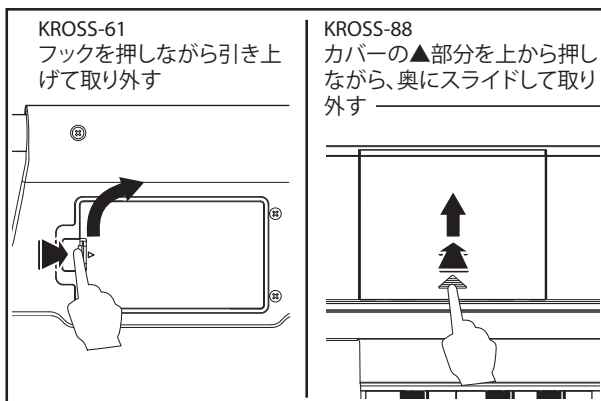
アルカリ乾電池を使用した場合、およそ4時間です。電池の種類や本体の使用状況によって変動します。

- ▲ 新しい電池と古い電池、異なる種類の電池を一緒に使わないでください。液漏れや破裂の恐れがあります。
- ▲ 使い終えた電池は、すぐに取り出してください。液漏れや破裂の恐れがあります。

### 電池を入れる

Note: 電池は付属していません。別途お買い求めください。

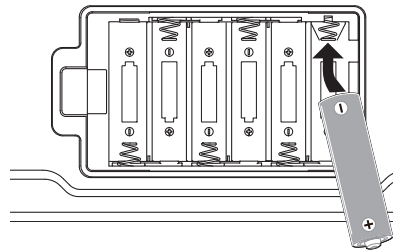
#### 1. 電池ボックスのカバーを外す



▲ KROSS-61の電池ボックスは底面にあります。裏返す際は、ノブやダイヤルなどを守るため、厚手の毛布などの上に置いて作業してください。

#### 2. 電池を入れる

「+」と「-」の向きを間違えないように入れてください。



Note: 図はKROSS-61です。KROSS-88は電池の向きが図と逆になりますのでご注意ください。

#### 3. 電池ボックスのカバーを閉める

外したときと逆の手順でカバーを閉めます。

### 電池の種類を本体に設定する

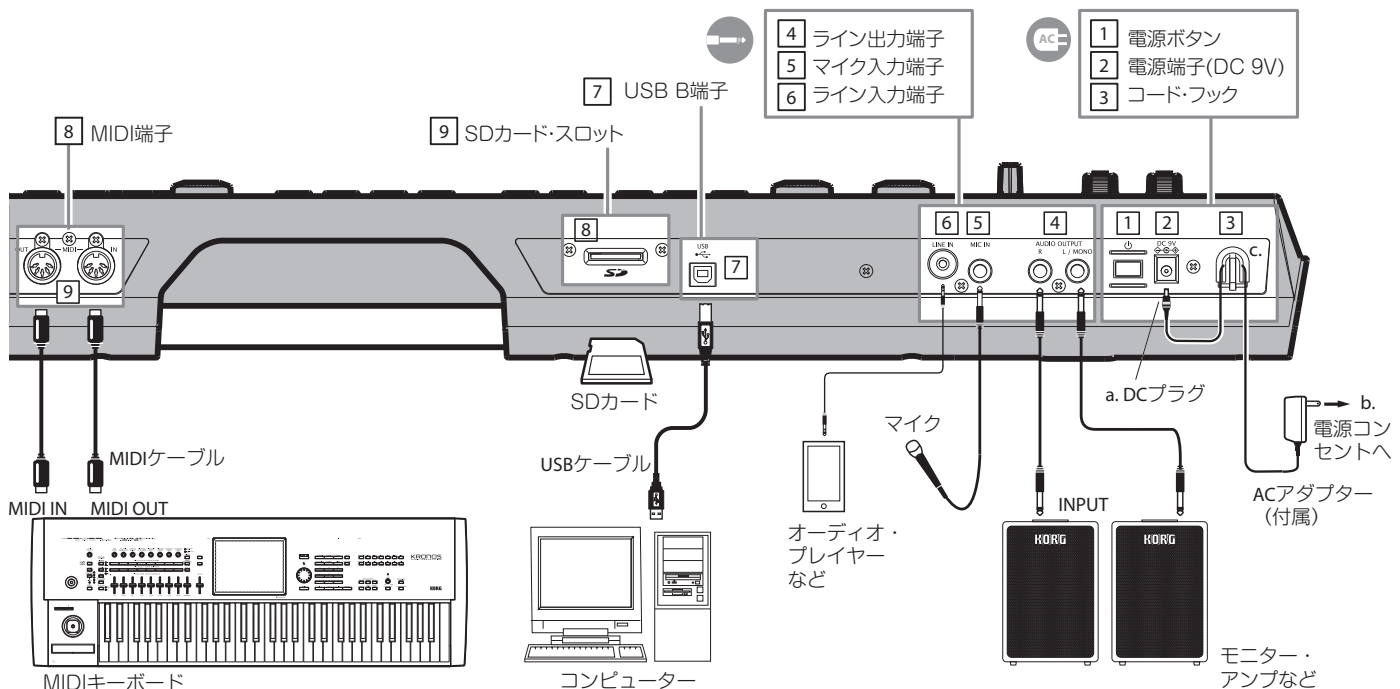
電池を入れたら、電源を入れて、使用する電池の種類を設定してください。

- a. GLOBAL/MEDIAボタンを押して、GLOBAL/MEDIAモードを表示します。
- b. PAGE+（またはPAGE-）ボタンを押して、GLOBAL>PREF (Preferences)ページを表示します。
- c. カーソル・ボタン▼（または▲）を押して、Battery Typeパラメーターを選び、ENTERボタンを押して切り替えます。アルカリ乾電池：Alkaline  
ニッケル水素電池：Ni-MH
- d. 設定を保存します。（→p.8「設定（グローバル・セッティング）を保存する」参照）

### 電池残量表示 ( )

電池残量の目安が画面右上にマークで表示されます。ACアダプター使用中は、が表示されます。

Note: マークが点滅しているときは、電池の残量がほとんどありません。速やかに必要なデータを保存して、電池を交換してください。または接続をACアダプターに切り替えてください。



## 電源を入れる、切る

### 演奏までの準備

#### 1. 電源の準備

電源を準備します。KROSSは、電源にACアダプター、または単3形電池が使用できます。

ACアダプター：「電源の接続」(→p.6)

単3形電池：「電池を使用する」(→p.7)

#### 2. 周辺機器を接続する

オーディオ機器や、フット・コントローラー、SDカードを接続します。

また、お使いになる用途に応じて、MIDIやUSBの接続もおこないます。

オーディオ機器：「オーディオ機器の接続」(→p.6)

フット・コントローラー：「フット・コントローラーの接続」(→p.6)


SDカード：「データ・セーブ/ロードの準備」(→p.6)

#### 3. 電源を入れる

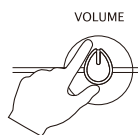
本機のVOLUMEノブとモニター・アンプのボリュームを操作して、音量を下げます。



本機のディスプレイのバックライトが点灯するまで電源ボタンを押し続けてオンにします。本機の電源が入ったら、モニター・アンプの電源を入れてください。

 本機の起動中にSDカードをスロットから出し入れしないでください。


#### 4. 音量を調節する




鍵盤を弾きながら、音量を調節します。本機のVOLUMEノブやモニター・アンプのボリュームを操作して、適度な音量になるよう調節してください。

### 使い終わったら

使い終わったら、最初に本機のVOLUMEノブとモニター・アンプのボリュームを操作して、音量を下げます。そしてモニター・アンプの電源をオフにします。続いて本機のバックライトが消えるまで電源ボタンを押し続けてオフにします。

 電源をオフにする前にデータを保存してください。保存されていないデータは消えてしまいます。必ず本体やSDカードに保存してください。

 処理の最中に電源をオフにしないでください。“Now writing into internal memory”と表示されているときは、絶対に電源をオフにしないでください。本体の記憶データが壊れることがあります。

### オート・パワー・オフ機能

KROSSには、演奏や操作(\*)をしないまま一定時間が経過すると、自動的に電源をオフにするオート・パワー・オフ機能があります。工場出荷時は、約4時間に設定されています。

\* VOLUME ノブの操作は本体操作と見なされません。

#### オート・パワー・オフ機能を設定する

起動完了時にオート・パワー・オフ情報のウィンドウが表示されるときは、オート・パワー・オフ機能が有効になっています。

設定時間を変更したり、機能そのものを無効にするには、以下の手順で操作します。

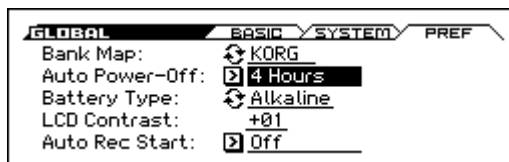
##### 1. GLOBALモードを選ぶ

GLOBAL/MEDIAボタンを押します。

##### 2. 設定ページを開いて、設定を変更する

PAGE+ (またはPAGE-) ボタンを押して、GLOBAL > PREF ページを開きます。カーソル・ボタン▼ (または▲) を押して、Auto Power-Offパラメーターを選び、バリュー・ダイヤル等で設定します。

Note: Disabledを選択すると、機能そのものを無効にできます。

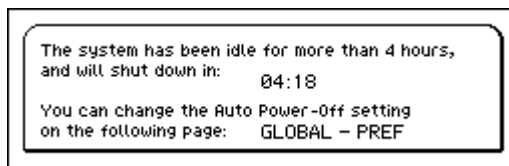


##### 3. 設定 (グローバル・セッティング) を保存する

FUNCTIONボタンを押します。Write Global Settingを▲ (PAGE-)ボタンで選び、OK (MENU)ボタンを押します。もう一度OK (MENU)ボタンを押して保存を実行します。

### 自動オフ直前の警告メッセージ

本体の操作が行われずに一定の時間が経過すると、まもなく電源がオフになることを知らせるメッセージが表示されます。



継続してご使用になる場合は、鍵盤やボタン、コントローラーなどを操作してください。

Note: 操作後に再度操作されないまま一定時間が経過すると、ふたたび同じメッセージが表示されます。



# ディスプレイとモード

## ディスプレイ



KROSSのディスプレイには、さまざまな情報が表示されます。

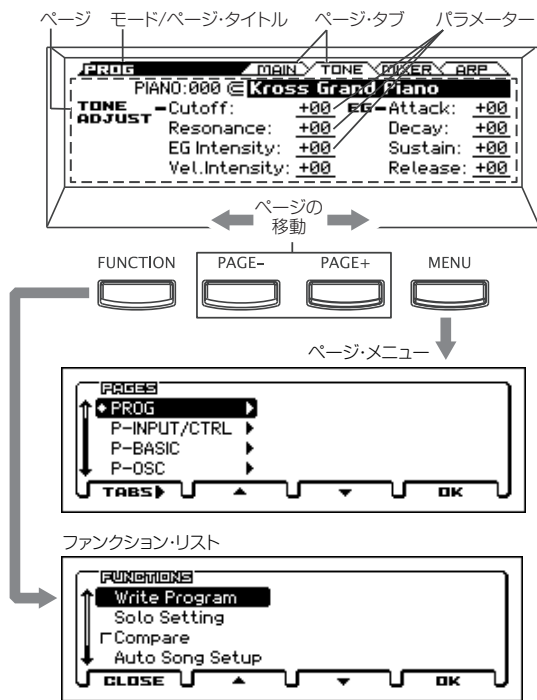
Tip: 周囲の環境によってディスプレイの表示が見えにくいときは、コントラストを調節します。EXITボタンを押しながらバリュー・ダイヤルを回すと、いつでも調節できます。

## ページとファンクション

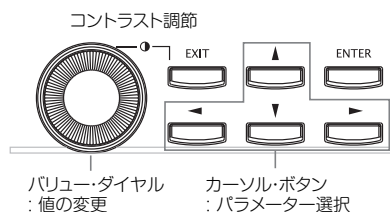
1画面単位の表示を「ページ」と呼びます。目的のページを開くには、PAGE-、PAGE+ボタン、またはMENUボタンを押してページ・メニューから選びます。

また、各ページには便利な機能「ファンクション」があります。

メニュー・ページ、ファンクション・ページでは、PAGE-、PAGE+ボタンで項目を選び、MENUボタンで表示や実行します。



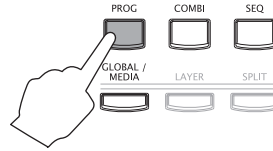
目的のページを開いたら、カーソル・ボタン(◀▶▲▼)でパラメーターを選び、バリュー・ダイヤルで値を調節します。ENTERボタンは値の確定、EXITボタンはキャンセルなどの機能があります。



## モードを選択する

KROSSには4つの動作モードがあります。演奏や作曲、全体的な設定など、用途に応じたモードに切り替えて操作します。

- ・モード・ボタンを押して、モードに入る



## 音色を作る / 演奏する

### プログラム・モード(PROG)



KROSSの基本音色「プログラム」の演奏やエディットをします。

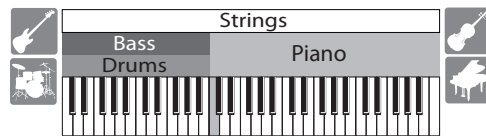
### コンビネーション・モード(COMBI)



複数のプログラムを組み合わせせた音色です。

「コンビネーション」の演奏やエディットをします。

プログラムを重ねたレイヤー設定や、鍵盤範囲で異なる音色にするスプリット設定や、それらを組み合わせせた設定にすることもできます。



## フレーズや曲を作る

### シーケンサー・モード(SEQ)



16トラックのシーケンサーで、フレーズや曲を作成します。

鍵盤やコントローラーによる演奏などの情報をMIDIデータとして記録し、再生します。

## 本機の設定やデータのセーブ / ロードをする

### グローバル/メディア・モード(GLOBAL/MEDIA)



鍵盤のトランスポーズや感度、コントローラー、MIDIなど、本機に関するさまざまな設定をします。

また、SDカードに対して本機の音色や楽曲データのセーブやロードをおこないます。

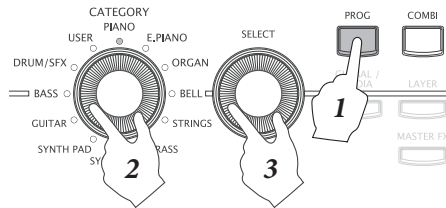


## 音色を選ぶ／演奏する

### プログラムやコンビネーションを選ぶ

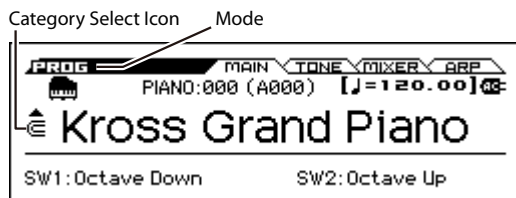


KROSSの音色選びはとても簡単です。フロント・パネルの左側にあるサウンド・セレクターを使用して、直感的に音色を選ぶことができます。



#### 1. モードを選択する

モード・ボタンを押して、プログラム・モードやコンビネーション・モードを選びます。トップ・ページが表示されます。



☐ (カテゴリー・セレクト・アイコン) が表示されているところでは、サウンド・セレクターを使って音色を選ぶことができます。

#### 2. 音色のカテゴリーを選択する

サウンド・セレクターのCATEGORYダイヤルを回して、音色のカテゴリーを選びます。サウンド・セレクターを操作すると、サウンド・セレクト・リストが表示されます。



#### 3. 音色のバリエーションを選択する、演奏する

サウンド・セレクターのSELECTダイヤルを回して、カテゴリーのバリエーション音色を選びます。

トップ・ページに戻るには、OK (MENU)ボタンまたはENTERボタンを押します。Cancel (FUNCTION)ボタン、EXITボタンを押すと、音色を切り替える前の音色に戻ります。

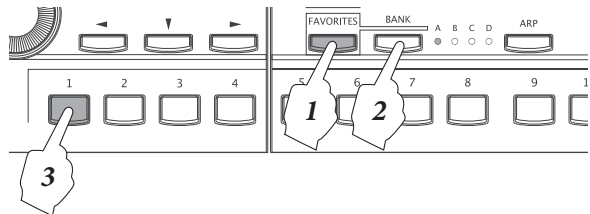
Tip: トップ・ページでも音色を選ぶことができます。バリュー・ダイヤルやカーソル・ボタン▲、▼で選びます。

## フェイバリット機能を使う

音色やオーディオ・ソングなどを登録して呼び出せるフェイバリット機能があります。フロント・パネルの1～16ボタンに登録すれば、いつでも気軽に呼び出すことができます。

### 音色を呼び出す

登録した音色を呼び出します。工場出荷時、フェイバリット・バンクA、Bにおすすめの音色が登録されています。



#### 1. フェイバリット機能をオンにする

FAVORITESボタンを押してオンにします。



#### 2. フェイバリット・バンクを選択する

呼び出す音色が登録されているフェイバリット・バンクを、BANKボタンで選びます。A B C DのLED点灯が切り替わります。ここではAを選びます。

#### 3. 音色を呼び出す

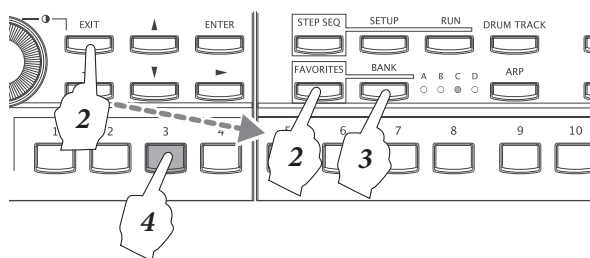
1～16ボタンのいずれかを押して、呼び出します。

## 音色をボタンに登録する

音色を1～16ボタンに登録するには、以下の手順で操作します。

#### 1. 音色を選ぶ

登録するプログラムやコンビネーションを選びます。(左コラム参照)



#### 2. 登録モードにする

EXITボタンを押しながらFAVORITESボタンを押して、登録モードにします。

#### 3. 登録先のバンクを選択する

BANKボタンを押して選択します。

#### 4. ボタンに登録する

1～16ボタンのいずれかを押し、登録完了です。

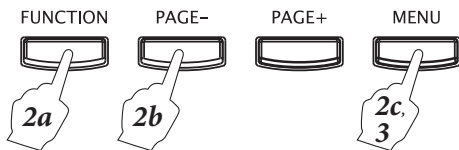
Tip: 登録済みの音色を変更する方法もあります。(→オペレーション・ガイド「フェイバリットに音色を登録する」参照)

## フェイバリットを保存する

音色をボタンに登録し終わったら、フェイバリットを保存してください。保存せずに電源をオフにすると、登録した設定は消えてしまいます。

### 1. フェイバリット機能をオンにする

FAVORITESボタンを押してオンにします。



### 2. ファンクションWrite Favoritesを選択する

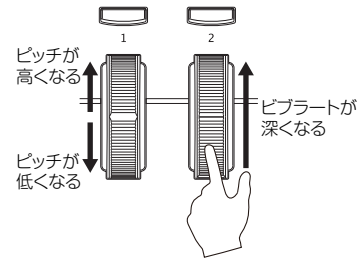
FUNCTIONボタンを押します。Write Favoritesを▲(PAGE-)ボタンで選び、OK (MENU)ボタンを押します。

### 3. 保存を実行する

OK (MENU)ボタンを押します。保存が実行されます。

## コントローラーでサウンドを変化させる

### フロント・パネルのコントローラー



パネルの左側にあるSW1、SW2、ピッチ・バンド・ホイール (左)、モジュレーション・ホイール (右) で、音色を変化させることができます。

#### SW1、SW2

SW1とSW2は、鍵盤オクターブの変更や、ポルタメント効果のオン/オフ、ピッチ・バンド・ホイールのロック/解除などを設定して操作できます。

#### ピッチ・バンド・ホイール(左)

前後に回して、ピッチ (音程) をコントロールします。変化の度合いは変更することができます (→オペレーション・ガイド「ピッチをコントロールする」参照)。ピッチ・バンド・ホイールは手を離すとセンター位置に戻ります。

#### モジュレーション・ホイール(右)

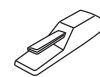
さまざまな音色変化をコントロールできます。音色によって効果が異なりますが、主にビブラートに割り当てられています。(→オペレーション・ガイド「ピッチをコントロールする」参照)

## フット・コントローラー

接続した各フット・コントローラーで、足元でKROSSをコントロールすることができます。

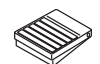
Note: 初めて接続するときは、調整や機能の設定をおこなってください。(→オペレーション・ガイド「フット・コントローラーの接続」参照)

#### ダンパー・ペダル



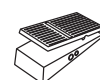
踏んでいる間、鍵盤から手を離しても音を鳴らし続けることができます。コルグDS-1H (別売) によってハーフ・ダンパーに対応します。

#### フット・スイッチ



音色を切り替えたり、シーケンサーやドラムトラックを再生/停止することができます。

#### フット・ペダル



音量や音色変化、エフェクト効果などを調節します。



# プロダクション・ツールズ

## アルペジエーターで演奏する

アルペジエーターとは、押さえた鍵盤に応じて、リズムカールなコードや分散和音を自動演奏する機能です。



### 基本的な使い方

#### 1. 機能をオンにする



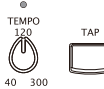
ARP ボタンを押して、アルペジエーターをオンにします。

#### 2. 演奏をはじめめる (スタート)



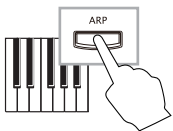
鍵盤を押さえると演奏がスタートします。特定の音域でスタートする音色もあります。いろいろな音域を押さえてみましょう。

#### 3. 演奏速度を調節する



演奏の速度を調節するにはテンポを設定します。TEMPOノブを回したり、TAPボタンを何度か押して調節します。

#### 4. 演奏を止める、オフにする (ストップ)



鍵盤から手を離すと演奏が止まります。演奏が止まらないときは、ARPボタンをオフにします。(次項「Latch」参照)

## アルペジオの演奏や動作を変更する

アルペジエーターの調節は、各モードのARPページでおこないます。プログラム・モードを例に説明します。

### 1. 設定するページを選択する

PROGボタンを押します。PAGE+ボタンを押して、PROG > ARPページを選びます。

Arpeggio Mod:



Arpeggio Pattern      Latch

### 2. 各設定を調節する

カーソル・ボタン▲▼◀▶でパラメーターを選び、バリュー・ダイヤル等で調節します。

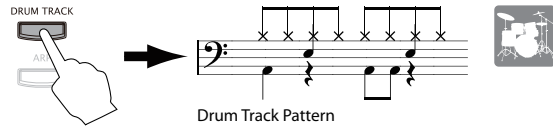
GATE: 発音の長さ    VEL: 音の強さ    SWING: スウィング感  
Arpeggio Pattern: アルペジオ・パターン選択

Latch: 鍵盤から手を離しても演奏が持続するラッチ機能

より詳細な説明は、オペレーション・ガイド「アルペジエーター機能」を参照してください。

## ドラム・トラックを鳴らす

ドラム・トラックとは、さまざまなジャンルのドラム・パターンを演奏させる機能です。



### 基本的な使い方

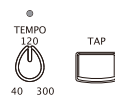
#### 1. 機能をオンにして、演奏をはじめめる (スタート/待機)



DRUM TRACKボタンをオンにすると、演奏がスタートします。

Note: ボタンが点滅する場合は、待機状態です。鍵盤を押さえると演奏がスタートします。(次項「Trigger Mode」参照)

#### 2. 演奏の速度を調節する



演奏の速度を調節するにはテンポを設定します。TEMPOノブを回したり、TAPボタンを何度か押して調節します。

#### 3. オフにして、演奏を止める (ストップ)

DRUM TRACKボタンをオフにすると、演奏がストップします。

## ドラム音色やパターン、設定を変更する

演奏するドラム・パターンや、音色や音量を変えることができます。

これらの設定は、各モードのDRUM TRACKページでおこないます。

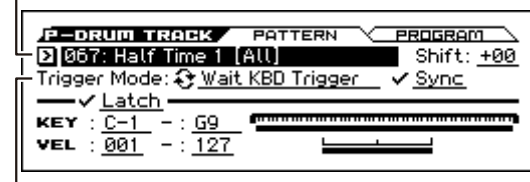
プログラム・モードを例に説明します。

### 1. 設定するページを選択する

PROGボタンを押します。MENUボタン(→p.9参照)を押してページ・メニューを開き、カーソル・ボタン▼でP-DRUM TRACKを選びます。

OK (MENU)ボタンを押すと、DRUM TRACKページに移動します。PAGE+、PAGE-ボタンを押してPATTERN、またはPROGRAMページを選びます。

Drum Track Pattern



Trigger Mode:

### 2. 各設定を調節する

カーソル・ボタン▲▼◀▶でパラメーターを選び、バリュー・ダイヤル等で調節します。

PATTERNページ

Drum Track Pattern: ドラム・トラック・パターン選択

Trigger Mode: 演奏スタート方法の選択

PROGRAMページ

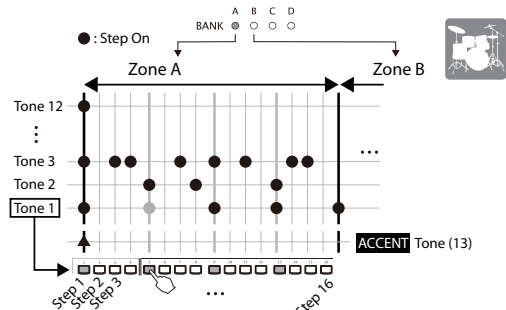
DRUM/SFX: ドラムス・プログラム選択

より詳細な説明は、オペレーション・ガイド「ドラムトラック機能」を参照してください。

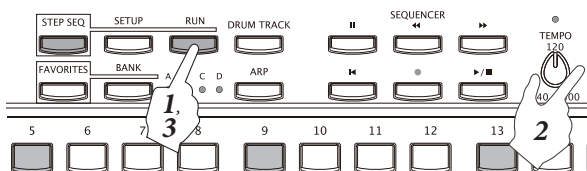
## ステップ・シーケンサーを鳴らす

ステップ・シーケンサー機能とは、1～16ボタンを使って簡単にドラム・ループ・パターンを作ることができる機能です。

Note: 作成したループ・パターンは、音色やソングと一緒に保存することができます。



### 基本的な使い方



#### 1. 演奏をはじめる (スタート)

RUNボタンをオンにすると、ループ・パターンの再生がスタートします。オフにするとストップします。

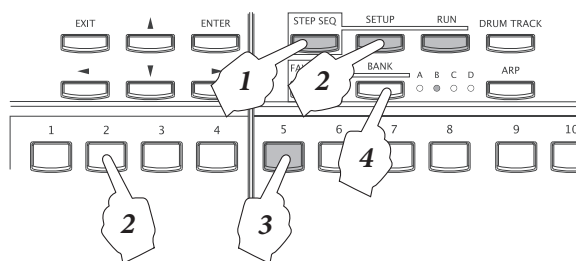
#### 2. 演奏の速度を調節する

演奏の速度を調節するにはテンポを設定します。TEMPOノブを回したり、TAPボタンを何度か押して調節します

#### 3. オフにして、演奏を止める (ストップ)

RUNボタンをオフにすると、演奏がストップします。

### パターンを入力する



#### 1. 機能をオンにする

STEP SEQボタンが点灯(または点滅)しているとき、フロント・パネルでステップ・シーケンサー機能を操作できます。

#### 2. 入力するキック、スネアなどのトーンを選択する

SETUPボタンを押しながら、1～12ボタンを押して、トーンを選びます。

初期状態では、各トーンに次のドラムス・インストゥルメントが割り当てられています(ドラム・セット)。

Tone 1: Kick	Tone 5: H.H Open	Tone 9: Tom H
Tone 2: Snare 1	Tone 6: Crash	Tone 10: Perc 1
Tone 3: Snare 2	Tone 7: Ride	Tone 11: Perc 2
Tone 4: H.H Close	Tone 8: Tom L	Tone 12: SFX

#### 3. 入力する (ステップのオン/オフ)

1～16ボタンを押して入力します。点灯しているボタンのステップが発音します。押すたびにオン、オフが切り替わります。ステップは発音の単位です。

Note: ステップは、Reso (Resolution)で設定した音符の間隔で、Lgth (Length)の数の範囲を繰り返し演奏します。(「ドラム音色を変更する」SETUPページ図参照)

#### 4. ゾーンを切り替える

BANKボタンで切り替えます。ステップは最大で64ステップ(Lgthで設定)あり、A～Dのゾーンに16ステップずつあります。Bank LEDのA～Dで表示されます。

## ドラム音色を変更する

### 全トーンの音を変える(ドラム・セットを切り替える)

ドラム音色を切り替えることができます。プログラム・モードを例に説明します。

#### 1. 設定するページを選択する

P-STEP SEQ > BASICページを選びます。(操作手順は「ドラム音色やパターン、設定を変更する」手順1参照) このページでは、全トーンのステップを一覧で見ることができます。



#### 2. Programでドラムス・プログラムを変更する

#### トーンごとの音色(インストゥルメント)を変更する

各トーンで鳴らす音にはバリエーションがあります。STEP SEQ > INSTページのINST SELECTでバリエーションを選びます。

## ループ・パターンの演奏を調節する

パターンの基本音量やスウィング感(ノリ)、アクセント効果の調節をすることができます。

調節は、STEP SEQ > MODページでおこないます。

Velocity: 基本音量 Swing:スウィング感  
Accent: アクセントの音量

#### ステップにアクセントをつけるには

##### 1. アクセント・トーンを選ぶ

SETUPボタンを押しながら、13ボタンを押して、選びます。

##### 2. 音量を強調するステップをオンにする

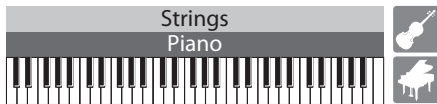
1～16ボタン、BANKボタンで、アクセントを付けるステップを押して、点灯させます。選択したステップのすべてのトーンの音量が強調されます。

Note: アクセントの音量は、前述のMODページのAccentで調節します。



## 音色を手軽にエディットする

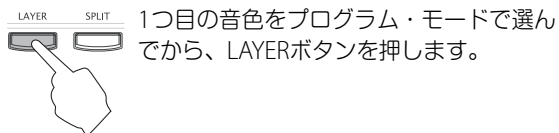
### クイック・レイヤー



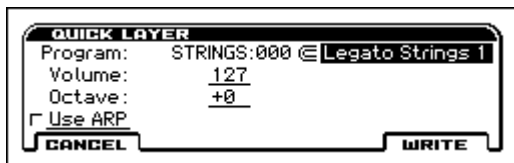
2つの音色を重ねて演奏できる、レイヤー設定をセットアップする機能です。音量のバランスなども調整することができます。

#### クイック・レイヤーで音色を作る

##### 1. 1つ目の音色を選択して、LAYERボタンを押す



##### 2. 2つ目の音色を選んで、調整する



2つ目のプログラム音色を選択し、そのプログラムの音量(Volume)やオクターブ(Octave)、アルペジエーター(Use ARP)の設定をコピーするかを設定します。

カーソル・ボタン▲▼◀▶でパラメーターを選び、バリュー・ダイヤル等で調節します。プログラムの選択にはサウンド・セレクターが使用できます。

WRITE (MENU)ボタンを押します。

##### 3. コンビネーションに保存 (ライト) する



クイック・レイヤーおよびクイック・スプリットで作成した音色は、コンビネーションとして保存されます。

コンビネーション名、カテゴリー、保存先番号 (WRITE To) を設定します。保存先はユーザー・バンクのみです。

OK (MENU)ボタンを押すと、作成した設定の音色がコンビネーションとして保存されます。

Note: 保存したコンビネーションは、以下の2つの場所で選ぶことができます。

- 保存先 (WRITE To) で設定した番号USERカテゴリー (USER: 000など)
- Categoryで設定したカテゴリー内 (PIANO: 030など)

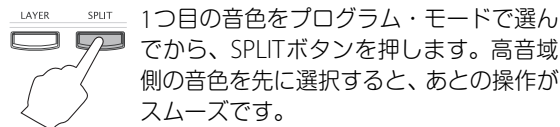
### クイック・スプリット



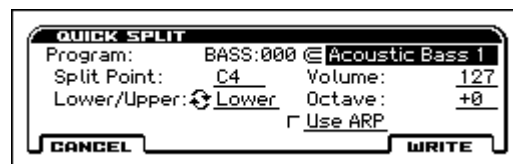
鍵盤の左右で異なる音色で演奏できる、スプリット設定をセットアップする機能です。2つのプログラムを選択して音量やオクターブなどを調整し、コンビネーションとして保存します。

#### クイック・スプリットで音色を作る

##### 1. 1つ目の音色を選択して、SPLITボタンを押す



##### 2. 2つ目の音色を選んで、調整する



2つ目のプログラム音色を選択し、各設定をおこないます。「クイック・レイヤー」の手順2を参照してください。スプリット・ポイント(Split Point)で2つの音色が切り替わる位置を設定します。Lower/Upperはこのパラメーターを選び、ENTERボタンを押すと2つの音色の配置が入れ替わります。

WRITE (MENU)ボタンを押します。

##### 3. コンビネーションに保存 (ライト) する

「クイック・レイヤー」の手順3を参照してください。

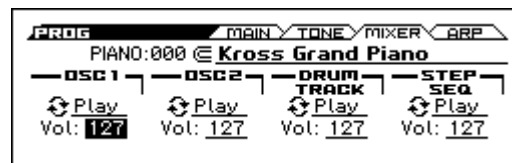
### 音量バランスを調節する

演奏する音色、ドラム・トラック、ステップ・シーケンサーそれぞれの音量バランスを調節します。

#### プログラムの音量を調節する



プログラムのそれぞれの音量バランスを調節するには、PROG > MIXERページで操作します。PROGボタン、PAGE+ボタンを押して、ページを選びます。



それぞれのパラメーターで音量を調節します。

カーソル・ボタン▲▼◀▶でパラメーターを選び、バリュー・ダイヤル等で調節します。

OSC1, OSC2:演奏する音色の音量

DRUM TRACK:ドラム・トラックの音量

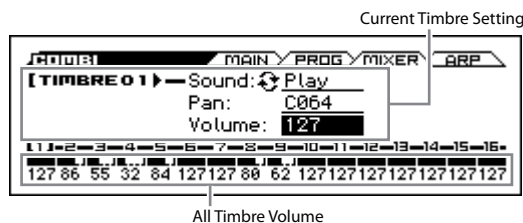
STEP SEQ:ステップ・シーケンサーの音量

## コンビネーションの音量を調節する



コンビネーションの音量バランスを調節するには、COMBI > MIXERページで操作します。

COMBIボタン、PAGE+ボタンを押して、ページを選びます。



コンビネーションにはプログラムを割り当てる16個のティンバーがあり、ドラム・トラックやステップ・シーケンサーもティンバーを鳴らしています。それらのティンバーの音量を調節します。

### 1. 調節するティンバーを選ぶ

カーソル・ボタン◀、▶を押してティンバーを選びます。

### 2. ティンバーのボリュームを調節する

カーソル・ボタン▲、▼でVolumeパラメーターを選び、バリュー・ダイヤル等で調節します。

## 全体の音量を一斉に調節する

プログラムやコンビネーションのMIXERページで操作できるさまざまな音量を、バランスを保ったまま一斉に調節することができます。

### 1. ファンクションHold Balanceを選ぶ

FUNCTIONボタンを押して、▲(PAGE-)、▼(PAGE+)ボタンで、Hold Balanceを選び、OK (MENU)ボタンを押します。

### 2. 音量調節する

バリュー・ダイヤルを回すと、プログラム、またはコンビネーションの全体のボリュームが、バランスを保ったまま変化します。

## 明るさや音量の変化を調節する

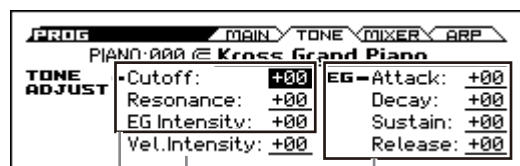
音の明るさを調節したり、打鍵時(アタック)や離鍵時(リリース)に音量や音の明るさが変化する速度を調節したりするには、トーン・アジャスト機能やEGアジャスト機能を使用します。

## プログラムを調節する

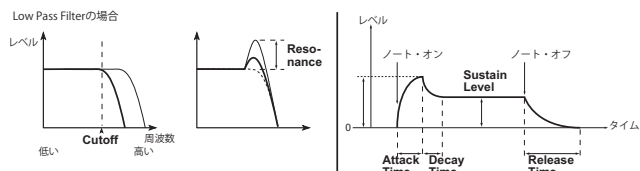


プログラム・モードでは、PROG > TONEページで調節します。

ページ選択と値の調節方法については、「プログラムの音量を調節する」を参照してください。



Tone Adjust (Filter): 音の明るさ  
Tone Adjust (Amp): 打鍵速度による音量の変化  
EG Adjust: 音量や明るさの時間的な変化



## コンビネーションを調節する



コンビネーション・モードでは、C-TONE ADJ > TONE ADJUSTページで音の明るさを、EG ADJUSTページで音量や明るさの時間的な変化を調節します。

ティンバーの選び方と値の調節方法は、「コンビネーションの音量を調節する」の手順を参考にしてください。

## エディットした音色を保存する

エディットして気に入った音色は、本体のメモリーに保存しましょう。保存せずに電源をオフにすると、エディットした音色は消えてしまいます。

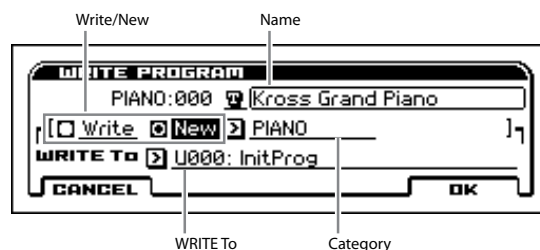
本体のメモリーに音色を保存することをライトと呼びます。音色をライトするには、プログラム・モード、コンビネーション・モードのいずれも、以下の手順で操作します。

### 1. ライト・ファンクションを選択する

FUNCTIONボタンを押して、▲(PAGE-)ボタンで、Write Program (またはWrite Combination)を選びます。OK (MENU)ボタンを押します。

### 2. 上書き保存/新規保存を選択する

エディットしている音色等に上書き保存するか(Write)、新たにユーザー・エリアへ新規保存するか(New)を選択します。ここでは、新規保存(New)を選びましょう。カーソル・ボタン▲▼◀▶でNewを選び、ENTERボタンを押してチェックします。



### 3. 保存先を指定して、保存(ライト)する

名前、カテゴリー、ユーザー・エリアの保存先番号(WRITE To)を設定します。

設定を終えたらOK (MENU)ボタンを押すと、新規保存が実行されます。

Note: 保存したコンビネーションは、以下の2つの場所で選ぶことができます。

- 保存先 (WRITE To) で設定した番号USERカテゴリー (USER: 000など)
- Categoryで設定したカテゴリー内 (PIANO: 054など)



## シーケンサーに録音する

ミュージック・ワークステーションならではの機能が、フレーズや曲を作成できる**録音機能**です。

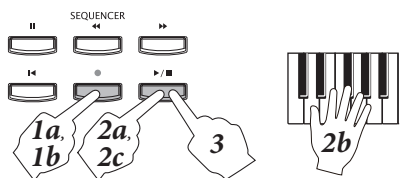
KROSSには、シーケンサーとオーディオ・レコーダーの2つの録音機能があります。

シーケンサーは、演奏をMIDIデータで記録します。録音の後に、演奏やコントロール情報、演奏する楽器などを変更することができます。

## 演奏を MIDI で録音する

### オート・ソング・セットアップ

オート・ソング・セットアップは、演奏しているプログラムやコンビネーションの音色とアルペジエーター、ドラム・トラックなどを、すぐにシーケンサーにセットアップして録音待機状態にする機能です。以下の手順で操作します。



#### 1. オート・ソング・セットアップを実行する

プログラム・モードやコンビネーション・モードで音色を選んでから、REC (●) ボタンを押すと、セットアップ確認ダイアログが表示されます。

もう一度REC (●) ボタンを押すと実行され、セットアップし、録音待機になります。

#### 2. 録音の開始 (スタート)、演奏、停止 (ストップ)

START/STOP (▶/■) ボタンを押すと、2小節のプリカウントのあとに録音が始まります。

クリック音に合わせて、演奏します。

演奏を終えたら、再びSTART/STOP (▶/■) ボタンを押して停止します。自動的に録音を開始したポイント (この場合は曲の先頭) に戻ります。

#### 3. 録音された演奏を確認する

START/STOP (▶/■) ボタンを押して、演奏を聴きます。

Note: 演奏を録音し直したいときは、ファンクション・リストからUndoを実行して録音前の状態に戻ることができます。

## 音のタイミングを自動修正する(クオンタイズ)



タイミングの修正には、クオンタイズ機能を使用します。タイミングを合わせるだけでなく、タイミングをずらしてスウィング感を与える設定も可能です。

それでは、録音した演奏にクオンタイズをかけてみましょう。

#### 1. ページを選択する

S-TRACK EDIT > SELECT MEASURE TO EDITページを表示します。

MENU ボタンを押してページ・メニューを表示します。

▼ (PAGE+) または ▲ (PAGE-) ボタンを押して、S-TRACK EDITを選びます。OK (MENU) ボタンを押すとそのページが選ばれます。

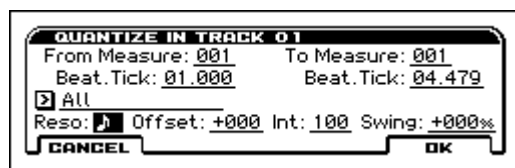
#### 2. クオンタイズをかけるトラックと小節範囲を指定する

カーソル・ボタン▲、▼でトラックを選びます。◀、▶とバリュー・ダイヤルで小節を指定します。

#### 3. ファンクションQuantizeを選択する

FUNCTION ボタンを押します。▼ (PAGE+) または ▲ (PAGE-) ボタンでQuantizeを選び、OK (MENU) ボタンを押します。

#### 4. そろえるステップや、修正の強さを指定する



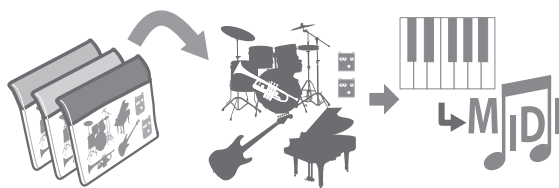
そろえたいタイミングの幅をResolutionで指定します。実際のフレーズで最も短く演奏した音の長さを指定すると良いでしょう。また、そろえる度合いをInt (Intensity) で指定します。100%にするとジャストなタイミングになりますが、機械的な演奏ともいえます。

#### 5. 指定した内容でクオンタイズをかける

OK (MENU) ボタンを押して、選択したデータにクオンタイズをかけます。再生して、効果を確認してみましょう。

Note: クオンタイズをかける前の状態に戻すには、ファンクション・リストからUndoを実行します。(→p.9 「ページとファンクション」参照)

## テンプレート・ソングを使う



本格的に曲を作成するには、テンプレート・ソングが便利です。音楽スタイルに合ったサウンドやエフェクトのセット、ドラム・パターンを呼び出して、手軽に曲作りを始めることができます。以下の手順で操作します。

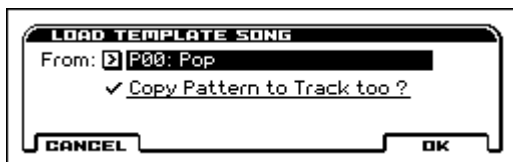


### テンプレート・ソングをロードする

#### 1. ファンクションLoad Template Songを選択する

SEQ > MAIN ページで、FUNCTION ボタンを押します。

▼ (PAGE+) または ▲ (PAGE-) ボタンでLoad Template Songを選び、OK (MENU) ボタンを押します。





## 2. テンプレートを選択してロードする

ロードするテンプレートを、Fromで指定します。

OK (MENU)ボタンを押すと、音色やエフェクトのセットがソングにロードされます。

Note: 続けてリズム・トラックを作成したいときは、ここでCopy Pattern to MIDI Track too?をチェックしておいてください。



### リズム・トラックを作る

手順2でCopy Pattern to MIDI Track too?をチェックすると、ロード実行後に以下のダイアログが表示されます。



## 3. コピーするドラム・パターンを選択する

パターンを選んでCopy (MENU)ボタンを押すと、パターンにある数小節のフレーズが、トラック1にコピーされます。Copy (MENU)ボタンを繰り返し押すと連続してコピーできます。

コピーを終えたら、Exit (FUNCTION)ボタンを押します。

Note: テンプレートのトラック1はドラム用のため、トラック1にコピーすることをお勧めします。

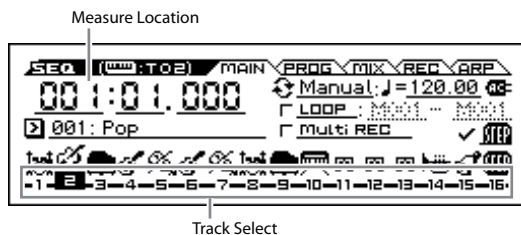
## トラックへの録音

### 1. 録音方法を設定する

SEQ > RECページのRecording Setupで、リアルタイム・レコーディング方法を設定します。初期設定はOverwrite (オーバーライト) です。Overwriteは演奏データを上書きで録音します。

### 2. 録音するトラックを選択する

SEQ > MAINページで、カーソル・ボタン▼を押してTrack Selectを選び、カーソル・ボタン◀、▶でトラックを選びます。



### 3. REC (●)ボタン押して、録音待機にする

### 4. 録音の開始 (スタート)、演奏、停止 (ストップ)

「オート・ソング・セットアップ」(→p.16)の手順2を参照してください。

### 5. 他のトラックに録音する

Track Selectでカーソル・ボタン◀、▶で録音するトラックを選び (手順2参照)、録音します (手順3、4参照)。

Note: 録音や再生する位置を変えるには、再生中などにREW (◀◀)、FF (▶▶)ボタン、またはMeasure Location上で移動します。初期設定ではLocate (◀)ボタンで先頭(001:01.000)に戻ります。

## 新規ソングを作成する

ファンクションCreate New Songを使用します。

SEQ > MAINページでファンクションCreate New Songを選び (→p.9「ページとファンクション」参照)、設定ダイアログのSet Lengthで小節数を指定して、実行します。(小節数は、後から変更することができます)

## 作成したソングをセーブ(保存)する



作成したソングは、SDカードにセーブ (保存) します。

▲ ソングを本体に保存することはできません。

電源を切ると本体上のデータは消えてしまいます。

▲ 本機でフォーマットしたSDカードを使用してください。

▲ SDカード挿入時に「Scanning Media」と表示されているときは、絶対にSDカードを取り出さないでください。

## 保存データについて



ソング・データは、.SNGファイルとして保存されます。演奏情報や音色 (プログラム) 番号などが含まれます。プログラム音色自体のデータは含まれません。(SNG: SoNG)



音色データは、.PCGファイルとして保存されます。演奏時に音色が正しく再現されるよう、.SNGファイルと一緒に.PCGファイルを保存することをお勧めします。(PCG: Program/Combination/Global)



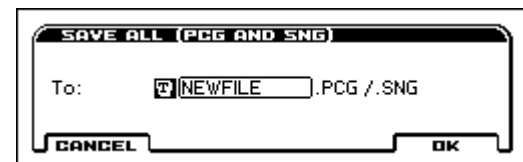
### ソングや音色をセーブする

#### 1. ページを選択する

GLOBAL/MEDIAモードのMEDIA > FILEページを選びます。EXITボタンを押しながらGLOBAL/MEDIAボタンを押すことで直接MEDIAページに移動することができます。

#### 2. ファンクションSave Allを選択する

FUNCTIONボタンを押します。▼ (PAGE+)または▲ (PAGE-)ボタンでSave Allを選び、OK (MENU)ボタンを押します。



#### 3. ファイルに名前をつけ、保存する

OK (MENU)ボタンを押すと保存されます。

Note: 保存するファイルに名前をつけるには、ENTERボタンを押すと表示されるテキスト・ウィンドウで入力してください。



### ソングをセーブする

ファンクションSave SEQを選び、実行してください。他の手順はすべて同じです。前述の「ソングや音色をセーブする」を参照してください。



## オーディオ・レコーダー に録音する

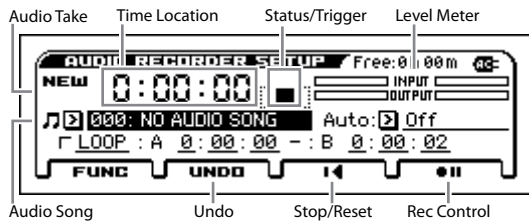
オーディオ・レコーダーは、KROSSの演奏や外部入力音をオーディオで録音する機能です。重ねて録音したり、過去の録音を取り消して録音し直すこともできます。

▲ オーディオ・レコーダーを使用するには、本機でフォーマットしたSDカードが必要です。

▲ オーディオ・レコーダーが録音や再生しているときや、SDカード挿入時に「Scanning Media」と表示されているときは、絶対にSDカードを取り出さないください。

### 表示と操作(セットアップ・ウィンドウ)

オーディオ・レコーダーの操作は、SETUPボタンを押すと表示されるセットアップ・ウィンドウでおこないます。



Note: セットアップ・ウィンドウを閉じて、レコーダーの録音動作や待機状態は維持されます。

Tip: 鍵盤などの演奏開始に合わせて録音をスタートする機能があります。(→オペレーション・ガイド「録音の開始方法を設定する」参照)

### 4. 録音を止める

Stop/Reset [■] (PAGE+)ボタンを押します。停止すると、自動的に録音を開始したポイントへ戻ります。

Note: 録音中にAUDIO RECORDER ▶/||ボタンを押すと、録音待機状態で一時停止します。Stop/Reset [■] (PAGE+)ボタンで停止にすると、同様に録音を開始したポイントへ戻ります。

### 5. 録音を確認する

AUDIO RECORDER ▶/||ボタンを押して再生し、録音された演奏を確認します。Stop/Reset [■] (PAGE+)ボタンで停止すると、再生を開始したポイントへ戻ります。

Note: 停止状態でStop/Reset [■] (PAGE+)ボタンを押すと、オーディオ・ソングの先頭に戻ります。

## 重ね録りをするとき

重ね録りをするとき、タイム・ロケーションや音色を変更して、上記の手順を繰り返してください。

Tip: 音色全体の音量を変更するには、ファンクション Hold Balance 機能が便利です。(→p.15参照)

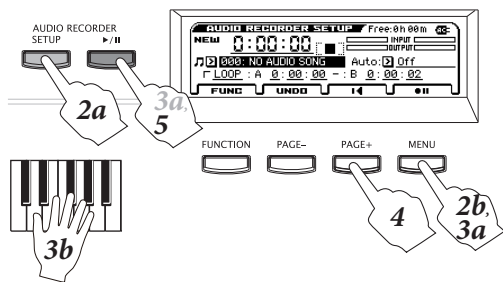
## KROSS の演奏を録音する

KROSSの音を録音するには、以下の手順で操作します。

### 基本的な使い方

#### 1. 演奏や再生の準備をする(音色やソングを選ぶ)

演奏する音色(プログラムやコンビネーション)や、シーケンサーのソングを選び、演奏や再生を始められる状態にします。



#### 2. 録音の準備をする

SETUPボタンを押してセットアップ・ウィンドウを表示させます。

Rec Control [■] (MENU) ボタン を押して録音待機状態にします。(AUDIO RECORDER ▶/||ボタン: 赤色点滅)

#### 3. 録音を始める

Rec Control [■] (MENU) ボタン、またはAUDIO RECORDER ▶/||ボタンを押すと、録音がスタートします。(AUDIO RECORDER ▶/||ボタン: 赤色点灯)

鍵盤を演奏したり、ドラム・トラックやシーケンサーなどを操作して録音します。

## 録音前 / 後の状態に戻す(アンドゥ/リドゥ)

録音し直すときは、アンドゥで録音前の状態に戻すことができます。また、アンドゥ操作を取り消す時は、リドゥします。

#### 1. アンドゥ・リストを表示する

UNDO (PAGE-)ボタンを押します。

#### 2. 戻すテイクを選択して、アンドゥする

これまでに録音されたテイクから、どのテイクに戻すかをバリュー・ダイヤルで選び、OK (MENU) ボタンを押します (UNDOの表示が変わります)。再生して確認してください。

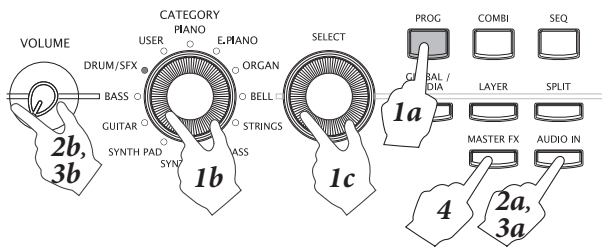


アンドゥを取り消す(リドゥ)場合は、最新のテイク(最も大きい数字)を指定して、OK (MENU) ボタンを押します。

Note: アンドゥした状態で録音すると、以降のテイクは消され、リドゥすることはできません (UNDO表示が元に戻る)。

## 外部入力音を録音する

外部入力音を録音するには、以下の手順で操作します。ここでは例として、マイクで録音する手順を説明します。



### 1. マイク用プログラムを選択する

入力やエフェクトがマイク用に設定されたプログラムを使用すると、簡単な操作で手軽にマイクで録音することができます。

PROG ボタンを押してプログラム・モードにしてから、DRUM/SFXカテゴリーの067: Mic & Reverbを選びます。(GMプログラムの手前にあります)

### 2. AUDIO INボタンをオフにして、マイクを接続する



AUDIO INボタンをオフ（消灯）にします。VOLUMEノブを左に回しきって音量を下げます。そしてダイナミック・マイクをリア・パネルのマイク入力(MIC IN)端子に接続します。

**必ずAUDIO INボタンをオフにし、VOLUMEノブでリウムを絞ってから、マイク等を接続してください。**スピーカー・システム等を破損することがあります。

Note: エレキ・ギターを接続する場合も、MIC IN端子に接続してください。パッシブ・ピックアップのギターを接続する場合は、間にプリアンプやエフェクターを接続することをお勧めします。

### 3. AUDIO INボタンをオンにして、入力音量を調節する

AUDIO INボタンを押してオン（点灯）にします。マイク入力が有効になります。VOLUMEノブを元に戻して適切な音量にし、鍵盤を弾いたりオーディオ・レコーダーを再生したりしながらマイクに声を入力して、音量バランスを確認してください。

マイクの音量を調節したいときは、EXITボタンを押しながらAUDIO INボタンを押して、AUDIO IN -QUICK STEERING-ダイアログを表示させ、Gainの値を調節してください。



Note: レベル・メーターが7割程度に振れる程度が目安です。過大入力時は[MIC]の表示が反転します。音量を調節したら、設定を保存してください。(→オペレーション・ガイド「オーディオ入力のグローバル設定 (G-SET) と個別設定」参照)

### 4. エフェクトを設定する



マイク用のプログラムには、ボーカルに残響効果をつけるエフェクトReverb HallなどがMaster FXに割り当てられています。効果をオフにするにはMASTER FXボタンをオフにします。

### 5. 録音する

録音するタイム・ロケーションを確認し、「基本的な使い方」手順2以降を参照して録音します。

## 新規オーディオ・ソングを作成する

ファンクションCreate New Audio Songを使用します。

セットアップ・ウィンドウでファンクションCreate New Audio Songを選び(→p.9「ページとファンクション」参照)、実行します。

## SDカードのフォーマット



新しいSDカードや、他の機器で使用していたSDカードをはじめて本機で使用するときには、あらかじめ本機でフォーマットする必要があります。

フォーマットするとSDカードにセーブされていたデータはすべて消去されます。確認の上、フォーマットを実行してください。

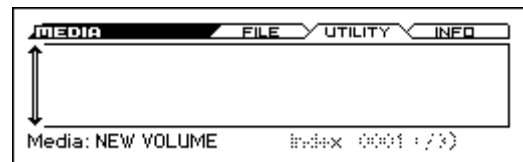
SDカードは、必ず本機でフォーマットしてください。本機以外でフォーマットしたSDカードは正しく認識できないことがあります。

### 1. SDカードを入れる

フォーマットするSDカードを、SDカードスロットに正しくセットします。(→p.6「SDカードを入れる/取り出す」参照)

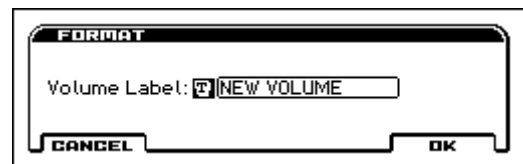
### 2. MEDIA > UTILITYページを選択する

EXITボタンを押しながらGLOBAL/MEDIAボタンを押すこと(ショートカット)で直接MEDIAページを開くことができます。PAGE+ボタンで、MEDIA > UTILITYページを表示します。



### 3. ファンクションFormatを選択する

FUNCTIONボタンを押します。Formatを▼(PAGE+)ボタンで選び、OK (MENU)ボタンを押します。



### 4. フォーマットを実行する

OK (MENU)ボタンを押すと、フォーマットの実行を確認するメッセージが表示されます。もう一度OK (MENU)ボタンを押すと、フォーマットが実行されます。

フォーマット中は絶対にSDカードを取り出さないでください。

フォーマットを実行しないときはCANCEL (FUNCTION)ボタンを押します。

## デモ・ソングを聴く

- この操作では、KROSS 本体にプログラムやコンビネーション・データとデモ・ソング・データをロードします。そのため、これまでにエディットしたり新規作成したデータは上書きされて消えてしまいます。これらのデータを残しておきたい場合は、SDカード（市販）にセーブしておいてください。

### 1. Global/Mediaモードでロードするページを選択する

GLOBAL/MEDIAボタンを押して、Globalモードに入ります。GLOBAL > BASICページを表示します（BASICページ以外が表示されたときはEXITボタンを数回押します）。

### 2. デモ・ソングとプリ・ロード・プログラムをロードする

FUNCTIONボタンを押します。▼(PAGE+)、▲(PAGE-)ボタンでLoad Preload/Demo Dataを選びます。OK (MENU)ボタンを押します。

ダイアログのKindにAll (Preload PCG and Demo Songs)を選びます。

OK (MENU)ボタンを押します。確認のメッセージが表示されますので、もう一度OK (MENU)ボタンを押します。ロードが実行されます。

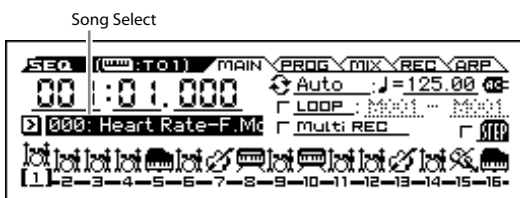
- データをロードしている間は、絶対に電源をオフにしないでください。

### 3. Sequencerモードで再生するページを選択する

SEQボタンを押して、Sequencerモードに入ります。SEQ > MAINページを表示します（表示されていない場合は、EXITボタンを数回押します）。

### 4. デモ・ソングを選択する

Song Selectでデモ・ソングを選択します。カーソル・ボタン▲▼◀▶でパラメーターを選び、バリュー・ダイヤル等で選びます。



### 5. 再生の開始（スタート）、停止（ストップ）

START/STOP (▶/■)ボタンを押すと再生が始まります。演奏が終わると自動的に停止します。途中で停止するときは、再びSTART/STOP (▶/■)ボタンを押します。

- ロードしたデモ・ソングは電源をオフにすると消去されますので、必要に応じてロードしてください。

## 工場出荷時の設定に戻す

工場出荷時の設定に戻すことができます。

「デモ・ソングを聴く」の手順1、2を参考にして、ダイアログのKindでAll Preload PCGを選んで、ロードを実行してください。

## 仕様（概略）

### システム:

EDS-i (Enhanced Definition Synthesis - integrated)

### 鍵盤部:

KROSS-61: 61鍵（ペロシティ対応・アフタータッチ非対応）

KROSS-88: NH（ナチュラル・ウェイトド・ハンマー・アクション）鍵盤（ペロシティ対応・アフタータッチ非対応）

最大同時発音数: 80ボイス（80オシレーター）

### プリセットPCMメモリー:

約112 MB (48kHz・16ビット・リニアPCM換算時)

### 音色:

コンビネーション 384（256プリロード）

プログラム 905（512プリロード、265プリセット）

フェイバリット: 64 (16フェイバリットx4バンク)

ドラムキット: 57 (32プリロード、9プリセット)

エフェクト: 134種、5インサート・エフェクト、2マスター・エフェクト

### プロダクション・ツールズ:

デュアル・ポリフォニック・アルペジエーター、ステップ・シーケンサー、ドラムトラック

### レコーダー:

16トラックMIDIシーケンサー、

オーディオ・レコーダー（音声フォーマット: PCMオーディオ・フォーマット 48kHz/16ビット）

### コントロール・インプット/アウトプット:

DAMPER（ハーフ・ダンパー対応）、ASSIGNABLE SWITCH、ASSIGNABLE PEDAL

MIDI IN、MIDI OUT、USB (TYPE B) USB-MIDIインターフェイス

### オーディオ・アウトプット:

AUDIO OUTPUT L/MONO, R: ø6.3mm フォーン・ジャック (TS不平衡)

Headphone output: ø3.5mmステレオ・ミニ・フォーン・ジャック

### オーディオ・インプット:

LINE IN: ø3.5mmステレオ・ミニ・フォーン・ジャック

MIC IN: ø6.3mm フォーン・ジャック (TS不平衡)

ファンタム電源/プラグインパワー非対応

### 電源:

ACアダプター電源端子（DC 9V, ⚡）

単3形アルカリ乾電池 6本、またはニッケル水素電池 6本

### 電池寿命:

単3形アルカリ乾電池 6本 約4時間

単3形ニッケル水素電池（1900mAh）6本 約5時間

\*使用電池、使用状況により変動します。

### 使用可能なSDカード:

2GBまでのSDメモリー・カード

32GBまでのSDHCメモリー・カード

(SDXCメモリー・カード非対応)

### 外形寸法（幅x奥行きx高さ）:

KROSS-61: 942x281x91 mm KROSS-88: 1,448x383x135 mm

### 質量:

KROSS-61: 4.3 kg KROSS-88: 12.4 kg

### 消費電力: 5 W

### 付属品:

ACアダプター、KROSSクイック・スタート・ガイド（本書）

### オプション:

XVP-10: エクスプレッション/ポリリューム・ペダル

EXP-2: フット・コントローラー

DS-1H: ダンパー・ペダル

PS-1, PS-3: ペダル・スイッチ

\* 製品の仕様および外観は、改良のため予告無く変更することがあります。

## 保証規定 (必ずお読みください)

本保証書は、保証期間中に本製品を保証するもので、付属品類(ヘッドホンなど)は保証の対象になりません。保証期間内に本製品が故障した場合は、保証規定によって無償修理いたします。

1. 本保証書の有効期間はご購入日より1ヶ年です。
2. 次の修理等は保証期間内であっても有償となります。
  - ・ 消耗部品(電池、スピーカー、真空管、フェーダーなど)の交換。
  - ・ お取り扱い方法が不適当のために生じた故障。
  - ・ 天災(火災、浸水等)によって生じた故障。
  - ・ 故障の原因が本製品以外の他の機器にある場合。
  - ・ 不当な改造、調整、部品交換などにより生じた故障または損傷。
  - ・ 保証書にお買い上げ日、販売店名が未記入の場合、または字句が書き替えられている場合。
  - ・ 本保証書の提示がない場合。

尚、当社が修理した部分が再度故障した場合は、保証期間外であっても、修理した日より3ヶ月以内に限り無償修理いたします。

3. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。  
This warranty is valid only in Japan.
4. お客様が保証期間中に移転された場合でも、保証は引き続きお使いいただけます。詳しくは、お客様相談窓口までお問い合わせください。
5. 修理、運送費用が製品の価格より高くなる場合がありますので、あらかじめお客様相談窓口へご相談ください。発送にかかる費用は、お客様の負担とさせていただきます。
6. 修理中の代替品、商品の貸し出し等は、いかなる場合においても一切行っておりません。

本製品の故障、または使用上生じたお客様の直接、間接の損害につきましては、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

本保証書は、保証規定により無償修理をお約束するためのもので、これよりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

### ■お願い

1. 保証書に販売年月日等の記入がない場合は無効となります。記入できないときは、ご購入より年月日を証明できる領収書等と一緒に保管してください。
2. 保証書は再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

コルグ  
KROSS-61/88

## 保証書

本保証書は、上記の保証規定により無償修理をお約束するものです。

お買い上げ日 年 月 日  
販売店名

## アフターサービス

### ■保証書

本製品には、保証書が添付されています。  
お買い求めの際に、販売店が所定事項を記入いたしますので、「お買い上げ日」、「販売店」等の記入をご確認ください。記入がないものは無効となります。  
なお、保証書は再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

### ■保証期間

ご購入いただいた日より一年間です。

### ■保証期間中の修理

保証規定に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。  
本製品と共に保証書を必ずご持参の上、修理を依頼してください。

### ■保証期間経過後の修理

修理することによって性能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料で修理させていただきます。ただし、補修用性能部品(電子回路など)に機能維持のために必要な部品)の入手が困難な場合は、修理をお受けすることができませんのでご了承ください。また、外装部品(パネルなど)の修理、交換は、類似の代替品を使用することもありますので、あらかじめお客様相談窓口へお問い合わせください。

### ■修理を依頼される前に

故障かな?とお思いになったら、まず取扱説明書をよくお読みのおうえ、もう一度ご確認ください。  
それでも異常があるときは、お客様相談窓口へお問い合わせください。

### ■修理時のお願い

修理に出す際は、輸送時の損傷等を防ぐため、ご購入されたときの箱と梱包材をご使用ください。

### ■ご質問、ご相談について

修理または商品のお取り扱いについてのご質問、ご相談は、お客様相談窓口へお問い合わせください。

### WARNING!

この英文は日本国内で購入された外国人のお客様のための注意事項です。

This Product is only suitable for sale in Japan. Properly qualified service is not available for this product if purchased elsewhere. Any unauthorised modification or removal of original serial number will disqualify this product from warranty protection.

お客様相談窓口  0570-666-569

PHS等一部の電話ではご利用できません。固定電話または携帯電話からおかけください。

受付時間 月曜日～金曜日 10:00～17:00  
(祝祭日、窓口休業日を除く)

- サービス・センター:  
〒168-0073 東京都杉並区下高井戸 1-15-12

本社: 〒206-0812 東京都稲城市矢野口4015-2  
<http://www.korg.co.jp/>